

ImportSubmitData/実行

QTHoney add-on の不具合で、.log2ファイルにはsubmitデータが記録されていません。同じタイミングで記録した.logがあれば、これからsubmitデータを取り出して.log2ファイルに加えることができます。
なお、submitデータをアクションログに出力するには、2013-04-01提供(ファイルの更新日は2013-03-27)かそれ以降のqthlog2tsvを使用してください。

.logから.log2へsubmitデータをコピーする手順は以下の通りです。

- <http://insecure.kyagroup.com/attachments/download/1502/importSubmitData.tar> をLinux OSマシンで、tarファイルを展開してください。
※ cresサーバでは /usr/local/share/qthlog2tsv/bin/importSubmitData.plとして展開済みです。

単一ファイルを処理する

```
importSubmitData.pl (入力.logファイルのパス) (入力.log2ファイルのパス) [出
```

出力パスを省略すると標準出力に出力します。

- logのsubmitイベントのデータをlog2のほぼ同時刻のsubmitイベントのsubmit_dataにコピーします
- 初期設定ではlogとlog2の出力タイムラグを100ms以内としています。負荷の高い状況でログをとるなどするとlogとlog2の出力により大きなタイムラグが生じる可能性があります。その場合、標準エラー出力に

```
no submit data found .... <$srcLog2> line 123.
```

と警告が出力されます。「importSubmitData.pl -d 1000」とすれば、1000msまでのタイムラグを同一のイベントとして許容します。

- .log2だけを途中で削除するなどすると、.logにしか記録されていないsubmitイベントが存在することがあります。
この場合、標準エラー出力に

```
extra submit data remain
```

と警告が出力されます。